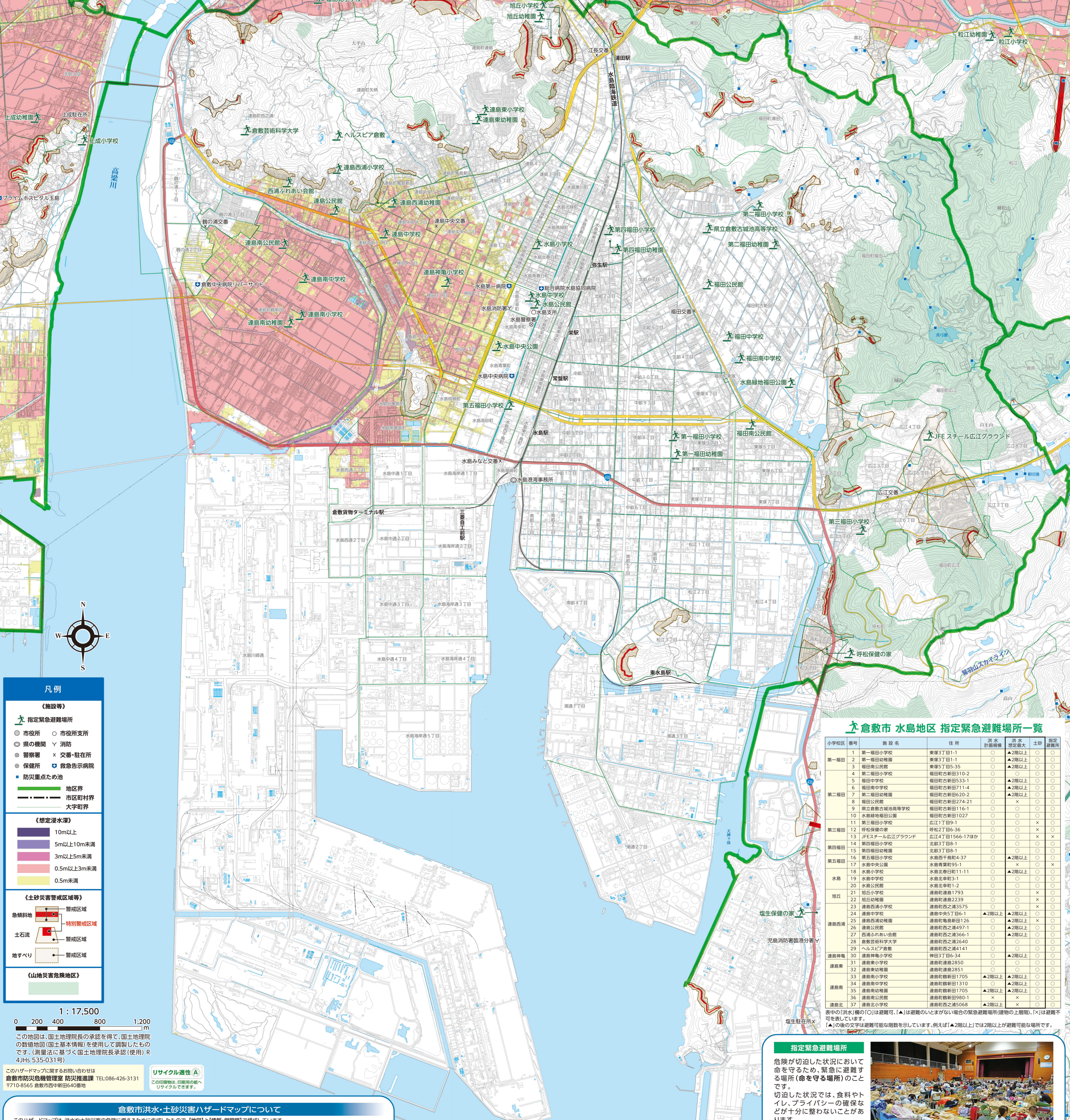


倉敷市 洪水・土砂災害ハザードマップ

水島地区

令和5年3月作成
洪水浸水想定区域図
計画規模(L1)
令和3年10月時点



- ### 凡例
- 【施設等】**
- 指定緊急避難場所
 - 市役所 市役所支所
 - 県の機関 消防
 - 警察署 交番・駐在所
 - 保健所 救急告示病院
 - 防災重点ため池
 - 地区界
 - 市区町村界
 - 大字町界
- 【想定浸水深】**
- 10m以上
 - 5m以上10m未満
 - 3m以上5m未満
 - 0.5m以上3m未満
 - 0.5m未満
- 【土砂災害警戒区域等】**
- 急傾斜地 警戒区域
 - 土砂災害警戒区域
 - 土砂災害特別警戒区域
 - 警戒区域
 - 地すべり 警戒区域
- 【山地災害危険地区】**

倉敷市 水島地区 指定緊急避難場所一覧

小学校区	番号	施設名	住所	洪水浸水想定最大	土砂	指定避難所
第一福田	1	第一福田小学校	東塚3丁目1-1	○	○	○
	2	第二福田幼稚園	東塚3丁目1-1	○	○	○
	3	福田公民館	東塚3丁目35	○	○	○
	4	第二福田小学校	福田町古新田310-2	○	○	○
	5	福田中学校	福田町古新田533-1	○	○	○
第二福田	6	福田南小学校	福田町古新田711-4	○	○	○
	7	第二福田幼稚園	福田町古新田620-2	○	○	○
	8	福田公民館	福田町古新田274-21	○	○	○
	9	東立倉敷古池高等学校	福田町古新田116-1	○	○	○
	10	水島緑地福田公園	福田町古新田1027	○	○	○
	11	第三福田小学校	広江1丁目9-1	○	○	○
	12	呼吸保健の家	呼吸2丁目36-36	○	○	○
	13	JFEスチール広江グラウンド	広江4丁目1566-17ほか	○	○	○
	14	第四福田小学校	北塚3丁目8-1	○	○	○
	15	第五福田幼稚園	北塚3丁目8-1	○	○	○
水島	16	第五福田小学校	水島町西之瀬14-37	○	○	○
	17	水島中央公園	水島町東95-1	○	○	○
	18	水島小学校	水島町東111-11	○	○	○
旭丘	19	水島中学校	水島町東3-1	○	○	○
	20	水島公民館	水島町東1-2	○	○	○
	21	旭丘小学校	連島町連島1793	○	○	○
	22	旭丘幼稚園	連島町連島2239	○	○	○
	23	連島西小学校	連島町西之瀬141	○	○	○
	24	連島中学校	連島町西之瀬111	○	○	○
	25	連島西幼稚園	連島町西之瀬126	○	○	○
	26	連島公民館	連島町西之瀬497-1	○	○	○
	27	西浦ふれあい会館	連島町西之瀬366-1	○	○	○
	28	倉敷芸術科学大学	連島町西之瀬2640	○	○	○
連島南	29	ヘルスピア倉敷	連島町西之瀬141	○	○	○
	30	連島南小学校	神田3丁目6-34	○	○	○
	31	連島南幼稚園	連島町連島2850	○	○	○
	32	連島南公民館	連島町連島2851	○	○	○
	33	連島南小学校	連島町連島1705	○	○	○
	34	連島南幼稚園	連島町連島1310	○	○	○
	35	連島南公民館	連島町連島1705	○	○	○
	36	連島南公民館	連島町連島980-1	○	○	○
	37	連島北小学校	連島町西之瀬5068	○	○	○
	38	連島北幼稚園	連島町西之瀬5068	○	○	○

表中の「洪水」の○は避難可能、△は避難のいとまがない場合の緊急避難場所(建物の上層階)、×は避難不可を示しています。
△の後の文字は避難可能な階数を示しています。例えば「△2階以上」では2階以上で避難可能な場所です。

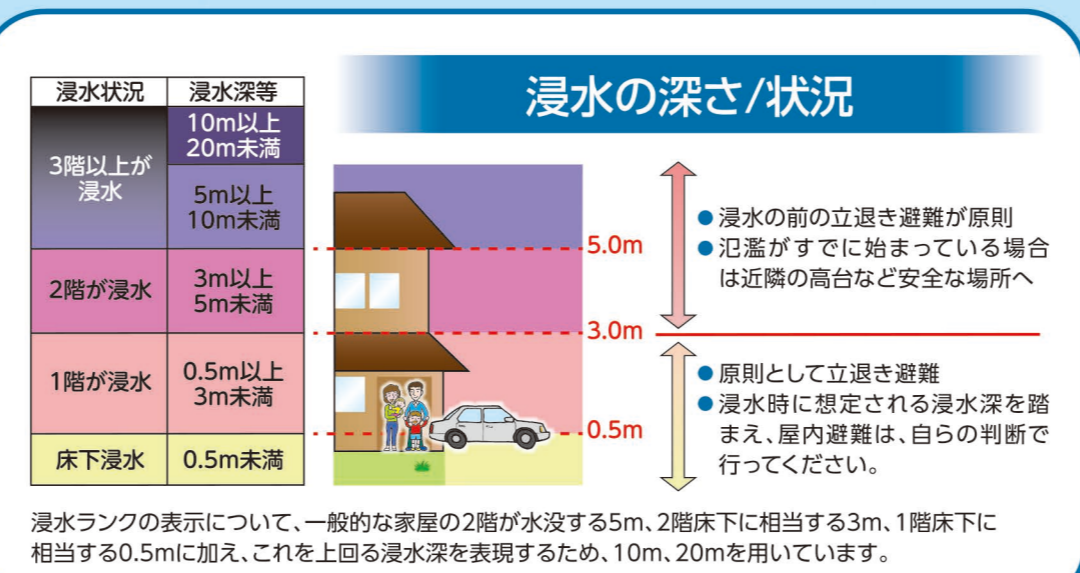
倉敷市洪水・土砂災害ハザードマップについて

このハザードマップは、洪水や土砂災害の危険に備えるために作成したもので、【地図】と【情報・学習編】で構成しています。

- 避難場所
市が指定するすべての「指定緊急避難場所」を表示しています。災害のおそれがある場合の使用の可否については「倉敷市指定緊急避難場所一覧表」で確認してください。市が発令する避難情報や気象台が発する気象情報に従って早めの避難を心がけるとともに、日頃から避難経路などを確認しておきましょう。
- 浸水想定区域
想定される浸水の範囲と深さについては、河川ごとに堤防が複数の地点で決壊した場合を想定し、それらを合算した結果を表示しています。(令和3年10月1日時点)
【計画規模(L1)】と【想定最大規模(L2)】について
河川整備の目標とする降雨のことで、河川の流域の大きさや災害の発生状況などを考慮して定められており、倉敷市内の河川ではおおむね超過率1/100とされています。
【想定最大規模(L2)】
瀬内川流域で観測された過去の最大の降雨量の雨が、当該河川の流域でも同じように降ると考えに基づき設定されており、倉敷市内の河川ではおおむね超過率1/1000とされています。
※計画規模・想定最大規模の想定雨量等は情報・学習編に記載しています。
- 土砂災害のおそれのある場所
1.土砂災害警戒区域等
土砂災害防止法に基づいて岡山県が指定した「土砂災害警戒区域」及び「土砂災害特別警戒区域」を表示しています。(令和3年8月26日時点) 最新の指定状況については、(おやま)安全防災総合GISでご確認ください。
2.山地災害危険地区
林野庁が定めた基準に基づき「山地災害危険地区(山腹の前縁、落石、土石流などにより災害が発生するおそれのある場所)」を表示しています。(令和4年4月1日時点)

【情報・学習編】

- 【情報・学習編】 災害のおそれがあるときの行動を事前に決めておく「避難行動判断フロー」や「避難情報や気象情報の入手方法」、河川別浸水エリア図(気づきマップ)などを掲載しています。避難についての検討をお願いします。



最新のハザード状況は岡山県統合型GISを参照ください。

指定緊急避難場所

危険が切迫した状況において命を守るため、緊急に避難する場所(命を守る場所)のことです。切迫した状況では、食料やトイレ、プライバシーの確保などが十分に整わないことがあります。

指定避難所

災害のため自宅で生活することができなくなった方が一時的に滞在する施設(生活する場所)のことです。生活再建に向け、安定的な生活環境の提供を目指します。

例えば、学校の体育館などは「指定緊急避難場所」と「指定避難所」の両方の役割を担いますが、切迫した危険が生じている間(災害の直前直後)は「指定緊急避難場所」としての性格が強く、危険が去った後は「指定避難所」の性格が強くなります。時間の経過(災害の状況)とともに、提供できるもの、優先順位なども変わります。